様式 ４５

避雷装置点検表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | |  |  | 判 定 |
| 突 針 又 は  架 空 線 | | 被保護建物は突針の先端（架空線の上端）から４５度の範  囲内にあるか。 |  | 適・否 |
| 被保護建物の上端から突針の先端まで２５ｃｍ（架空線の  上端まで３ｍ）以上あるか。 |  | 適・否 |
| 突針は垂直に、架空線は水平になっているか。 |  | 適・否 |
| 突針（架空線）は避雷導線によって接地電極に接続してあ  るか。 |  | 適・否 |
|  | | 被保護建物の上端以下は２条以上になり、引き離して設け  てあるか。 |  | 適・否 |
| 直線的（わん曲部の半径は２０ｃｍ以上）に、かつ建物の  最外側に沿って設けてあるか。 |  | 適・否 |
| 電燈線、雨どい、その他の金属製の物から１ｍ以上離れて  いるか。 |  | 適・否 |
|  | | 独立して設けた場合は、建物から２．５ｍ以上離れている  か。 |  | 適・否 |
| 雷撃、風圧等により損傷が生じないよう堅固に設置してあ  るか。 |  | 適・否 |
| 支線は支持点において避雷導線に接続してあるか。 |  | 適・否 |
|  | | 避雷導線ごとに１個以上あるか。 |  | 適・否 |
| 周囲１ｍ未満にガス管は埋設されてないか。 |  | 適・否 |
| 接地抵抗は検査証明書のとおり。　（　　　　　　Ω） |  | 適・否 |
| 構　　造 | 突 針 | 銅棒、直径１２ｍｍ以上　　（ 　・ ｍｍ） |  | 適・否 |
|  | 銅線、断面積３０ｍｍ以上　（　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
| 避 雷 導 線 | 銅線、断面積３０ｍｍ以上 （　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
| 接 地 電 極 | 銅板 （　　　　　　　　　　　） |  | 適・否 |
| 備 考 | |  |  |  |